

※下線部分を修正いたしました。令和2年10月28日

結果の概要

I 人口総数及び世帯数

1 人口総数の状況

令和2年1月1日現在における住民基本台帳による東京都の人口は、日本人と外国人を合わせた人口総数が13,834,925人で、前年に比べ94,193人(0.69%)増加している。そのうち日本人は13,257,596人、外国人は577,329人で、前年に比べ日本人は68,547人(0.52%)、外国人は25,646人(4.65%)増加している。

人口総数を男女別にみると、男性6,805,301人、女性7,029,624人となっている。前年に比べ男性は40,655人(0.60%)、女性は53,538人(0.77%)増加している。性比(女性100人に対する男性の数)をみると、人口総数の性比は96.8、日本人の性比は96.9、外国人の性比は95.8となっている。前年と比べると、人口総数の性比は0.2、日本人の性比は0.1の低下、外国人の性比は0.3の上昇となっている。

表1 区市町村、日本人、外国人別人口 令和2年1月1日現在

(単位：人)

地域	総数	日本人	外国人	地域	総数	日本人	外国人
総数	13,834,925	13,257,596	577,329				
区部	9,570,609	9,084,642	485,967				
千代田区	65,942	62,714	3,228	福生市	57,617	53,808	3,809
中央区	168,361	159,887	8,474	狛江市	83,257	81,849	1,408
港区	260,379	240,065	20,314	東大和市	85,301	84,116	1,185
新宿区	348,452	305,854	42,598	清瀬市	74,636	73,328	1,308
文京区	226,114	214,479	11,635	東久留米市	116,916	114,695	2,221
台東区	202,431	186,674	15,757	武蔵村山市	72,382	70,650	1,732
墨田区	274,896	261,917	12,979	多摩市	148,823	145,985	2,838
江東区	521,835	490,814	31,021	稲城市	91,540	90,092	1,448
品川区	401,704	387,804	13,900	羽村市	55,354	53,910	1,444
目黒区	281,474	271,801	9,673	あきる野市	80,667	79,694	973
大田区	734,493	709,206	25,287	西東京市	205,125	199,741	5,384
世田谷区	917,486	894,452	23,034	町村部	82,034	80,764	1,270
渋谷区	229,671	218,405	11,266	郡部	56,695	55,704	991
中野区	335,234	315,139	20,095	瑞穂町	32,824	31,989	835
杉並区	574,118	555,542	18,576	日の出町	16,695	16,579	116
豊島区	290,246	260,574	29,672	檜原村	2,138	2,132	6
北区	353,908	330,358	23,550	奥多摩町	5,038	5,004	34
荒川区	217,146	197,848	19,298	島部	25,339	25,060	279
板橋区	571,357	542,575	28,782	大島支庁	12,473	12,359	114
練馬区	739,435	717,945	21,490	大島町	7,544	7,453	91
足立区	691,298	657,258	34,040	利島村	322	318	4
葛飾区	464,550	441,424	23,126	新島村	2,688	2,675	13
江戸川区	700,079	661,907	38,172	神津島村	1,919	1,913	6
市部	4,182,282	4,092,190	90,092	三宅支庁	2,743	2,710	33
八王子市	562,480	549,270	13,210	三宅村	2,425	2,393	32
立川市	184,090	179,492	4,598	御蔵島村	318	317	1
武蔵野市	146,871	143,507	3,364	八丈支庁	7,494	7,386	108
三鷹市	188,461	184,518	3,943	八丈町	7,326	7,218	108
青梅市	133,032	131,077	1,955	青ヶ島村	168	168	-
府中市	260,232	254,628	5,604	小笠原支庁	2,629	2,605	24
昭島市	113,397	110,613	2,784	小笠原村	2,629	2,605	24
調布市	237,054	232,230	4,824				
町田市	428,821	421,959	6,862				
小金井市	122,306	119,321	2,985				
小平市	194,869	189,418	5,451				
日野市	186,346	183,003	3,343				
東村山市	151,255	148,247	3,008				
国分寺市	125,170	122,598	2,572				
国立市	76,280	74,441	1,839				

地域別にみると、区部は9,570,609人(うち日本人は9,084,642人、外国人は485,967人)、市部は4,182,282人(うち日本人は4,092,190人、外国人は90,092人)、町村部は82,034人(うち日本人は80,764人、外国人は1,270人)となっている。地域別の人口総数は前年に比べ区部は83,991人(0.89%)、市部は11,215人(0.27%)増加しているが、町村部は1,013人(△1.22%)減少している。

(表1、2-1~3、図1~3、統計表1、7)

表2-1 地域及び男女別人口総数 各年1月1日現在

(単位：人、%)

地域 性比	令和2年			平成31年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	13,834,925	6,805,301	7,029,624	13,740,732	6,764,646	6,976,086	94,193	40,655	53,538	0.69
区部	9,570,609	4,699,401	4,871,208	9,486,618	4,662,095	4,824,523	83,991	37,306	46,685	0.89
市部	4,182,282	2,064,285	2,117,997	4,171,067	2,060,472	2,110,595	11,215	3,813	7,402	0.27
町村部	82,034	41,615	40,419	83,047	42,079	40,968	△1,013	△464	△549	△1.22
性比 (総数)	96.8			97.0			△0.2			-

表2-2 地域及び男女別日本人人口 各年1月1日現在

(単位：人、%)

地域 性比	令和2年			平成31年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	13,257,596	6,522,813	6,734,783	13,189,049	6,495,215	6,693,834	68,547	27,598	40,949	0.52
区部	9,084,642	4,460,630	4,624,012	9,021,427	4,433,701	4,587,726	63,215	26,929	36,286	0.70
市部	4,092,190	2,021,197	2,070,993	4,085,767	2,020,013	2,065,754	6,423	1,184	5,239	0.16
町村部	80,764	40,986	39,778	81,855	41,501	40,354	△1,091	△515	△576	△1.33
性比 (総数)	96.9			97.0			△0.1			-

表2-3 地域及び男女別外国人人口 各年1月1日現在

(単位：人、%)

地域 性比	令和2年			平成31年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	577,329	282,488	294,841	551,683	269,431	282,252	25,646	13,057	12,589	4.65
区部	485,967	238,771	247,196	465,191	228,394	236,797	20,776	10,377	10,399	4.47
市部	90,092	43,088	47,004	85,300	40,459	44,841	4,792	2,629	2,163	5.62
町村部	1,270	629	641	1,192	578	614	78	51	27	6.54
性比 (総数)	95.8			95.5			0.3			-

図1 区市町村別人口総数 令和2年1月1日現在



図2 区市町村別日本人人口 令和2年1月1日

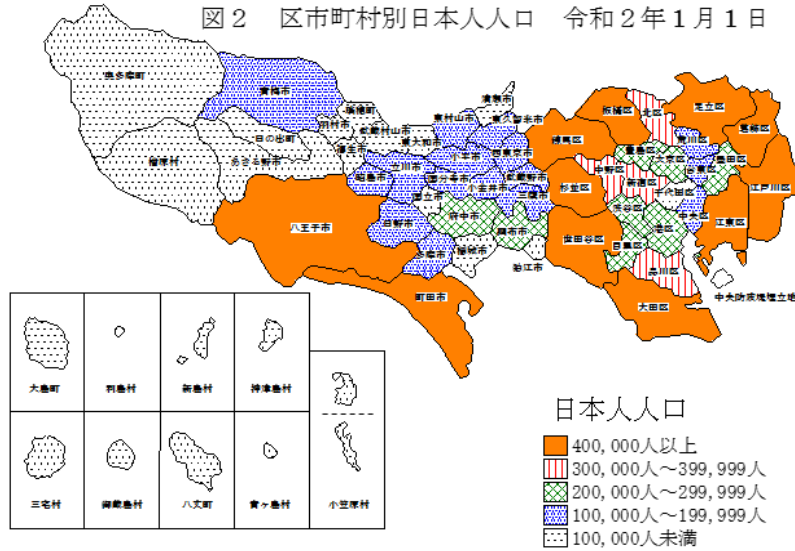
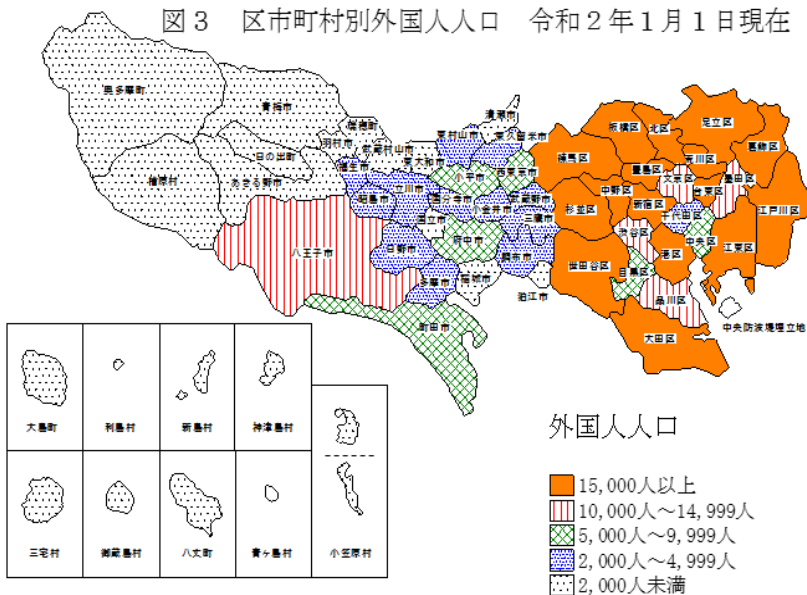


図3 区市町村別外国人人口 令和2年1月1日現在



2 平均年齢

人口総数の平均年齢は、45.02歳で、前年に比べ0.13歳高くなっている。

男女別にみると、男性は43.73歳、女性は46.27歳で、女性の方が2.54歳高くなっている。

地域別にみると、町村部の50.19歳が最も高く、次いで市部45.99歳、区部44.56歳となっている。

さらに区市町村別にみると、檜原村の60.52歳が最も高く、次いで奥多摩町の59.20歳、三宅村の53.93歳となっている。一方、最も低いのは御蔵島村の40.80歳で、次いで中央区の41.81歳、小笠原村の41.82歳となっている。

(表3、4)

表3 地域、男女別平均年齢（人口総数） 各年1月1日現在

(単位：歳)				
年次	地域	総数	男	女
令和2年	総数	45.02	43.73	46.27
	区部	44.56	43.30	45.77
	市部	45.99	44.62	47.33
	町村部	50.19	48.39	52.05
平成31年	総数	44.89	43.59	46.14
	区部	44.48	43.21	45.70
	市部	45.72	44.35	47.05
	町村部	49.84	48.08	51.65

注) 平均年齢は、各年齢階級の中央の年齢に人口を乗じた値を合計し、人口総数(年齢不詳者を除く)で除して求めている。

$$\text{平均年齢(歳)} = \Sigma(\text{年齢階級の中央の年齢} \times \text{人口}) \div \text{人口総数} + 0.5$$

表4 区市町村、男女別平均年齢（人口総数） 令和2年1月1日現在

(単位：歳)

地 域	平 均 年 齢			地 域	平 均 年 齢		
	総 数	男	女		総 数	男	女
総 数	45.02	43.73	46.27				
区 部	44.56	43.30	45.77				
千代田区	42.08	40.74	43.44	福生市	46.99	45.52	48.46
中央区	41.81	40.77	42.76	狛江市	45.74	44.46	46.95
港区	42.73	41.32	43.99	東大和市	46.80	45.55	48.02
新宿区	43.71	42.40	45.02	清瀬市	47.53	46.02	48.95
文京区	43.14	41.57	44.57	東久留米市	47.67	46.16	49.11
台東区	46.00	45.02	47.04	武蔵村山市	45.74	44.64	46.84
墨田区	44.95	43.86	46.02	多摩市	47.55	46.21	48.84
江東区	44.40	43.23	45.53	稲城市	43.70	42.80	44.61
品川区	44.04	42.71	45.33	羽村市	46.41	45.00	47.87
目黒区	44.17	42.68	45.51	あきる野市	47.97	46.72	49.21
大田区	45.09	43.98	46.18	西東京市	45.72	44.24	47.13
世田谷区	44.25	42.87	45.49	町 村 部	50.19	48.39	52.05
渋谷区	44.05	42.69	45.30	郡 部	49.81	48.05	51.59
中野区	44.29	42.83	45.77	瑞穂町	47.75	46.49	49.06
杉並区	44.56	43.20	45.81	日の出町	49.65	47.57	51.67
豊島区	43.81	42.57	45.05	檜原村	60.52	57.22	63.70
北区	45.83	44.26	47.37	奥多摩町	59.20	56.11	62.32
荒川区	45.02	43.85	46.18	島 部	51.05	49.12	53.13
板橋区	45.07	43.90	46.21	大島支庁	51.55	49.36	53.85
練馬区	44.60	43.38	45.75	大島町	52.12	49.68	54.73
足立区	46.03	44.76	47.31	利島村	44.29	43.38	45.46
葛飾区	45.96	44.64	47.28	新島村	53.40	51.87	54.85
江戸川区	43.83	42.82	44.85	神津島村	47.97	45.86	50.22
市 部	45.99	44.62	47.33	三宅支庁	52.41	50.65	54.54
八王子市	46.70	45.30	48.09	三宅村	53.93	51.88	56.43
立川市	45.65	44.24	47.04	御蔵島村	40.80	41.00	40.57
武蔵野市	45.02	43.41	46.51	八丈支庁	52.97	50.74	55.22
三鷹市	44.63	43.25	45.95	八丈町	53.15	50.85	55.47
青梅市	48.88	47.40	50.37	青ヶ島村	44.70	46.38	42.36
府中市	44.45	43.23	45.69	小笠原支庁	41.82	42.28	41.27
昭島市	46.42	45.17	47.67	小笠原村	41.82	42.28	41.27
調布市	44.44	43.19	45.63				
町田市	46.87	45.45	48.24				
小金井市	44.22	42.91	45.50				
小平市	44.85	43.42	46.23				
日野市	45.55	44.18	46.93				
東村山市	47.13	45.64	48.54				
国分寺市	44.67	43.30	46.00				
国立市	45.81	44.36	47.18				

注) 平均年齢は、各年齢階級の中央の年齢に人口を乗じた値を合計し、人口総数(年齢不詳者を除く)で除して求めている。

$$\text{平均年齢(歳)} = \Sigma(\text{年齢階級の中央の年齢} \times \text{人口}) \div \text{人口総数} + 0.5$$

3 年齢(5歳階級)別人口

人口総数の年齢(5歳階級)別人口を人口ピラミッドで見ると、45～49歳が最も多くなっており、1,183,409人となっている。

日本人では、45～49歳が最も多くなっており、1,143,924人となっている。

外国人では、25～29歳が最も多くなっており、93,854人となっている。

(表5、図4～6、統計表7)

表5 日本人及び外国人の年齢(5歳階級)別人口 令和2年1月1日現在

(単位：人、%)

年齢階級	総数	日本人	外国人	構成比 ²⁾		
				総数	日本人	外国人
総数 ¹⁾	13,834,925	13,257,596	577,329	100.00	100.00	100.00
0～4	544,876	525,974	18,902	3.94	3.97	3.27
5～9	540,335	522,947	17,388	3.91	3.94	3.01
10～14	517,833	504,920	12,913	3.74	3.81	2.24
15～19	550,544	524,760	25,784	3.98	3.96	4.47
20～24	797,328	707,473	89,855	5.76	5.34	15.56
25～29	944,347	850,493	93,854	6.83	6.42	16.26
30～34	959,936	885,444	74,492	6.94	6.68	12.90
35～39	1,016,401	956,642	59,759	7.35	7.22	10.35
40～44	1,079,732	1,034,011	45,721	7.80	7.80	7.92
45～49	<u>1,183,409</u>	<u>1,143,924</u>	<u>39,485</u>	8.55	8.63	6.84
50～54	1,042,763	1,010,124	32,639	7.54	7.62	5.65
55～59	847,652	822,822	24,830	6.13	6.21	4.30
60～64	687,700	671,666	16,034	4.97	5.07	2.78
65～69	711,910	701,729	10,181	5.15	5.29	1.76
70～74	771,963	765,557	6,406	5.58	5.77	1.11
75～79	652,479	648,455	4,024	4.72	4.89	0.70
80～84	483,632	480,989	2,643	3.50	3.63	0.46
85～89	315,309	313,816	1,493	2.28	2.37	0.26
90～94	142,081	141,405	676	1.03	1.07	0.12
95～99	38,617	38,404	213	0.28	0.29	0.04
100歳～	6,077	6,040	37	0.04	0.05	0.01
(参考) 年齢不詳	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>-</u>	0.00	0.00	-

注1) 総数には年齢不詳者を含む。

2) 構成比(%) = 各年齢階級別人口 ÷ 各人口の総数 × 100

図4 東京都の人口総数における人口ピラミッド 令和2年1月1日現在

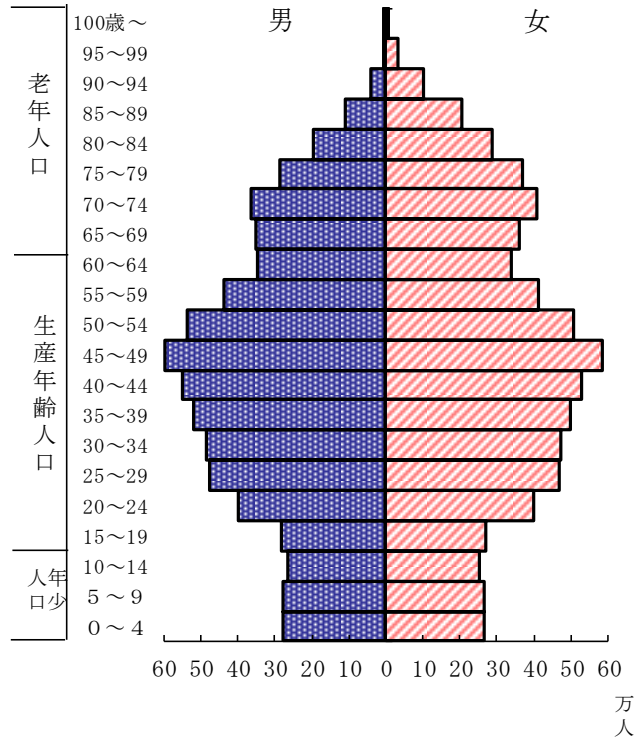
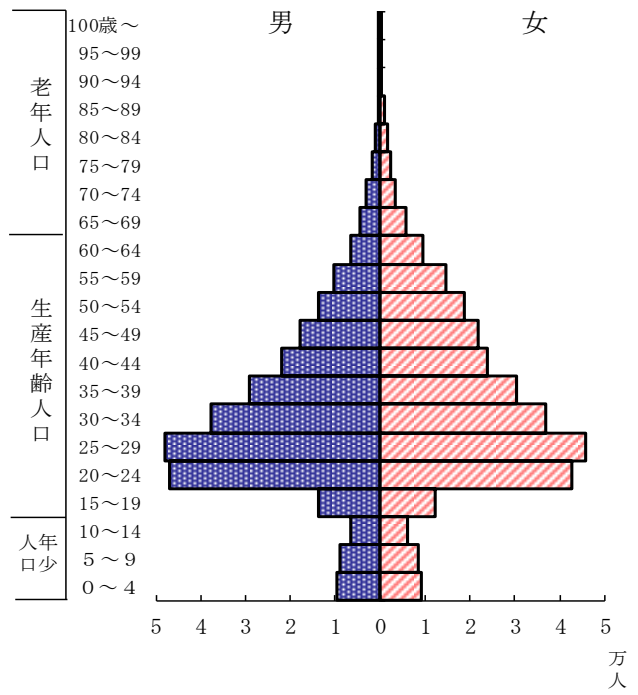
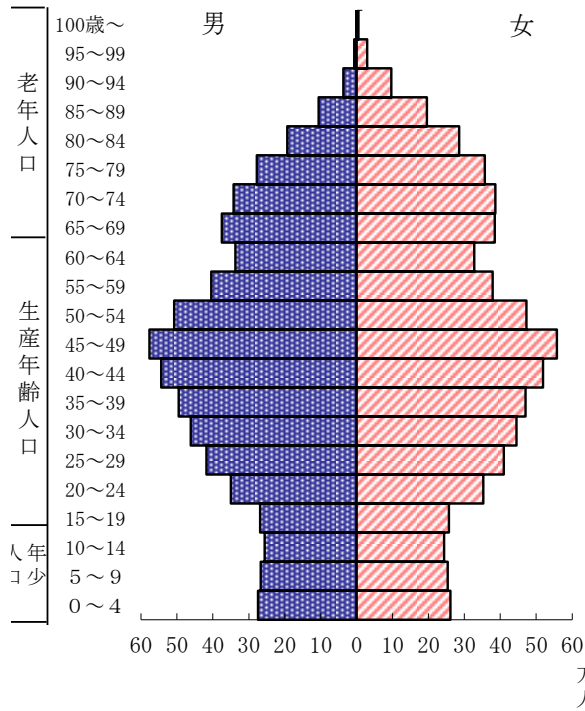


図5 東京都の日本人における人口ピラミッド 令和2年1月1日現在

図6 東京都の外国人における人口ピラミッド 令和2年1月1日現在



4 年齢3区分別人口

(1) 年少人口(0～14歳)

年少人口(0～14歳)をみると、人口総数では1,603,044人で、前年に比べ1,696人増加している。そのうち日本人は1,553,841人、外国人は49,203人で、前年に比べ日本人は1,067人減少し、外国人は2,763人増加している。

地域別に年少人口をみると、区部は1,081,700人、市部は511,876人、町村部は9,468人で、前年に比べ区部は6,010人増加しているが、市部は4,075人、町村部は239人減少している。

人口総数に占める年少人口の割合は11.59%となっており、そのうち日本人の割合は11.23%、外国人の割合は0.36%となっている。(表6-1、6-2、図7、統計表3-1～3)

(2) 生産年齢人口(15～64歳)

生産年齢人口(15～64歳)をみると、人口総数では9,109,812人で、前年に比べ74,144人増加している。そのうち日本人は8,607,359人、外国人は502,453人で、前年に比べ日本人は53,013人、外国人は21,131人増加している。

地域別に生産年齢人口をみると、区部は6,440,837人、市部は2,624,484人、町村部は44,491人で、前年に比べ区部は70,774人、市部は4,326人増加しているが、町村部は956人減少している。

人口総数に占める生産年齢人口の割合は65.85%となっており、そのうち日本人の割合は62.21%、外国人の割合は3.63%となっている。(表6-1、6-2、図8、統計表3-1～3)

(3) 老年人口(65歳以上)

老年人口(65歳以上)をみると、人口総数では3,122,068人で、前年に比べ18,354人増加している。そのうち日本人は3,096,395人、外国人は25,673人で、前年に比べ日本人は16,601人、外国人は1,753人増加している。

地域別に老年人口をみると、区部は2,048,072人、市部は1,045,921人、町村部は28,075人で、前年に比べ区部は7,207人、市部は10,965人、町村部は182人といずれも増加している。

人口総数に占める老年人口の割合は22.57%となっており、昭和32年の調査開始以来、過去最高を記録した前年および前々年(22.59%)から低下となった。そのうち日本人の割合は22.38%、外国人の割合は0.19%となっている。

(表6-1、6-2、図9、統計表3-1～3)

表6-1 地域、日本人、外国人の年齢3区分別人口及び増減数 各年1月1日現在

(単位：人)

地 域	令和2年			平成31年			増減数			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	
総 数	総 数	1,603,044	<u>9,109,812</u>	3,122,068	1,601,348	9,035,668	3,103,714	1,696	<u>74,144</u>	18,354
	区 部	1,081,700	6,440,837	2,048,072	1,075,690	6,370,063	2,040,865	6,010	70,774	7,207
	市 部	511,876	<u>2,624,484</u>	1,045,921	515,951	2,620,158	1,034,956	△ 4,075	<u>4,326</u>	10,965
	町村部	9,468	44,491	28,075	9,707	45,447	27,893	△ 239	△ 956	182
日 本 人	総 数	1,553,841	8,607,359	3,096,395	1,554,908	8,554,346	3,079,794	△ 1,067	53,013	16,601
	区 部	1,039,676	6,017,762	2,027,204	1,035,925	5,964,074	2,021,428	3,751	53,688	5,776
	市 部	504,800	2,546,195	1,041,194	509,366	2,545,850	1,030,550	△ 4,566	345	10,644
	町村部	9,365	43,402	27,997	9,617	44,422	27,816	△ 252	△ 1,020	181
外 国 人	総 数	49,203	<u>502,453</u>	25,673	46,440	481,322	23,920	2,763	<u>21,131</u>	1,753
	区 部	42,024	423,075	20,868	39,765	405,989	19,437	2,259	17,086	1,431
	市 部	7,076	<u>78,289</u>	4,727	6,585	74,308	4,406	491	<u>3,981</u>	321
	町村部	103	1,089	78	90	1,025	77	13	64	1

注) 総数には年齢不詳を含まない。

表6-2 地域、日本人、外国人の年齢3区分別人口及び構成比 令和2年1月1日現在

(単位：人、%)

地 域	総 数				日 本 人			外 国 人			
	計	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
		(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	
人 口 1)	総 数	13,834,925	1,603,044	<u>9,109,812</u>	3,122,068	1,553,841	8,607,359	3,096,395	49,203	<u>502,453</u>	25,673
	区 部	9,570,609	1,081,700	6,440,837	2,048,072	1,039,676	6,017,762	2,027,204	42,024	423,075	20,868
	市 部	4,182,282	511,876	<u>2,624,484</u>	1,045,921	504,800	2,546,195	1,041,194	7,076	<u>78,289</u>	4,727
	町村部	82,034	9,468	44,491	28,075	9,365	43,402	27,997	103	1,089	78
	郡 部	56,695	6,497	31,098	19,100	6,398	30,257	19,049	99	841	51
	島 部	25,339	2,971	13,393	8,975	2,967	13,145	8,948	4	248	27
構 成 比 2)	総 数	100.00	11.59	65.85	22.57	11.23	62.21	22.38	0.36	3.63	0.19
	区 部	69.18	7.82	46.55	14.80	7.51	43.50	14.65	0.30	3.06	0.15
	市 部	30.23	3.70	18.97	7.56	3.65	18.40	7.53	0.05	0.57	0.03
	町村部	0.59	0.07	0.32	0.20	0.07	0.31	0.20	0.00	0.01	0.00
	郡 部	0.41	0.05	0.22	0.14	0.05	0.22	0.14	0.00	0.01	0.00
	島 部	0.18	0.02	0.10	0.06	0.02	0.10	0.06	0.00	0.00	0.00

注1) 人口総数計及び各地域の人口計には年齢不詳者を含む。

注2) 構成比(%) = 各地域、年齢3区分別人口 ÷ 人口総数計 × 100

図7 区市町村別人口総数における年少人口割合 令和2年1月1日現在

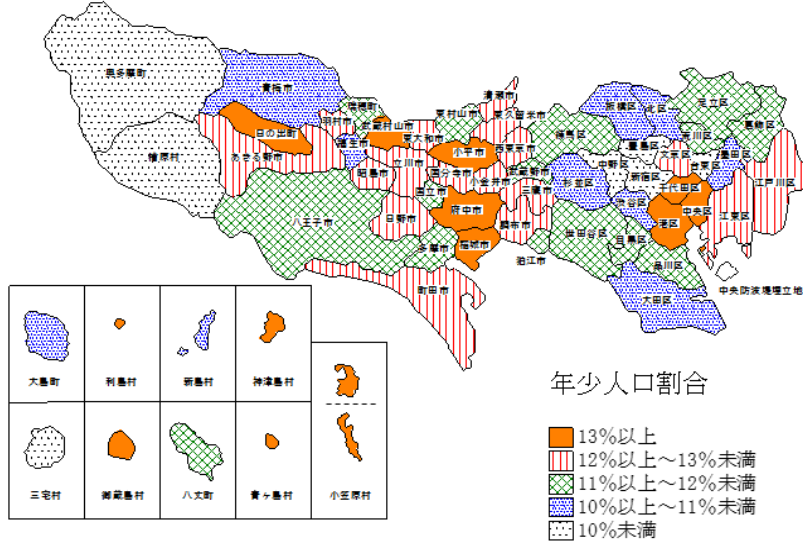


図8 区市町村別人口総数における生産年齢人口割合 令和2年1月1日現在

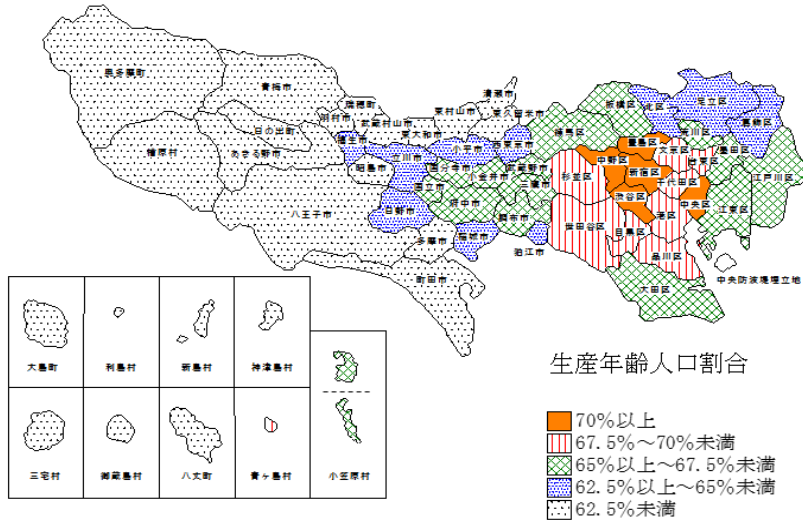
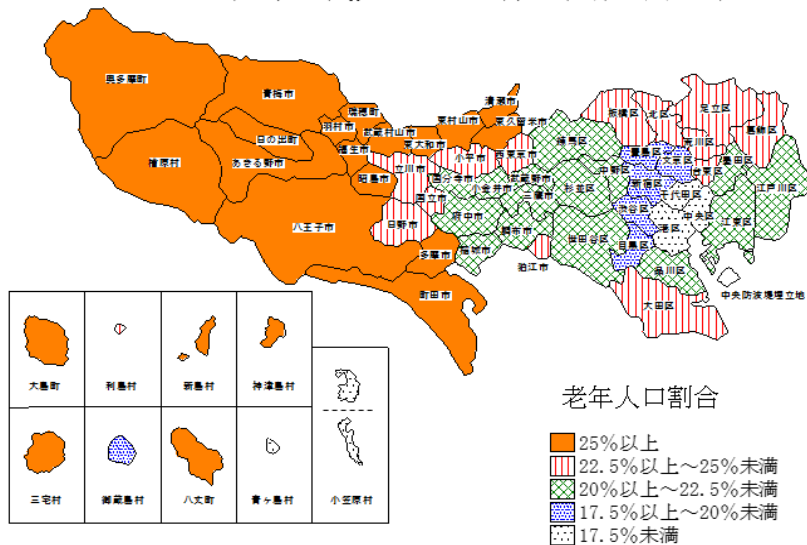


図9 区市町村別人口総数における老年人口割合 令和2年1月1日現在



5 世帯数

日本人のみの世帯、外国人のみの世帯及び日本人と外国人の複数国籍世帯を合わせた総世帯数は7,298,694世帯で、前年に比べ100,346世帯増加している。そのうち、日本人のみの世帯は6,863,469世帯で総世帯数の94.04%、外国人のみの世帯は342,780世帯で総世帯数の4.70%、日本人と外国人の複数国籍世帯は92,445世帯で総世帯数の1.27%をそれぞれ占めている。

東京都における一世帯当たり人員は1.90人となっており、地域別にみると、区部は1.83人、市部は2.07人、町村部は2.01人となっている。区市町村別にみると、一世帯当たり人員が最も多いのは武蔵村山市の2.27人、次いで稲城市、あきる野市の2.25人となっている。最も少ないのは青ヶ島村の1.49人、次いで三宅村の1.54人となっている。（表7、8、図10、統計表1、4）

表7 世帯の内訳（日本人、外国人、複数国籍世帯） 各年1月1日現在

区 分	令和2年		平成31年		対前年増減	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	実数	率
総世帯数	7,298,694	100.00	7,198,348	100.00	100,346	1.39
日本人のみの世帯	6,863,469	94.04	6,782,621	94.22	80,848	1.19
外国人のみの世帯	342,780	4.70	325,138	4.52	17,642	5.43
日本人と外国人の複数国籍世帯	92,445	1.27	90,589	1.26	1,856	2.05

図10 区市町村別一世帯当たり人員 令和2年1月1日現在

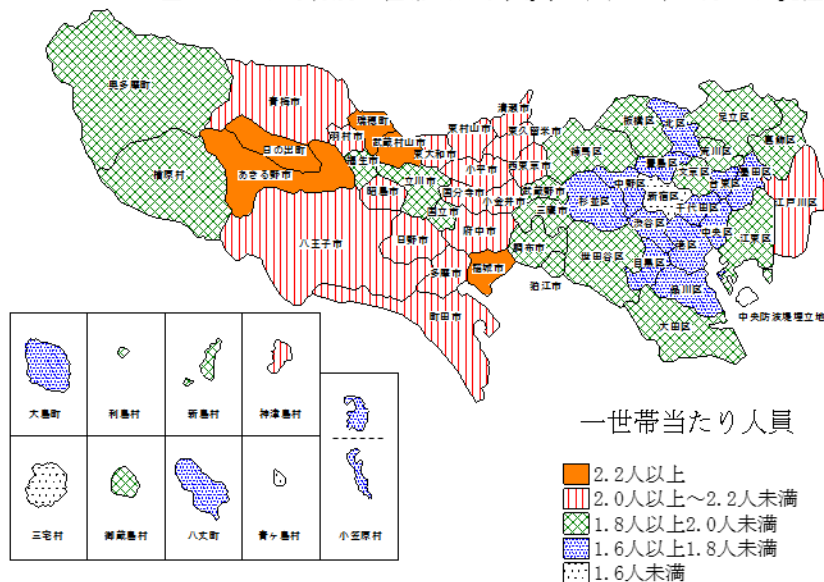


表8 区市町村別一世帯当たり人員 令和2年1月1日現在

(単位：人)

地 域	一世帯当 たり人員	地 域	一世帯当 たり人員
総 数	1.90		
区 部	1.83		
千代田区	1.77	福生市	1.89
中央区	1.78	粕江市	1.95
港区	1.76	東大和市	2.18
新宿区	1.57	清瀬市	2.09
文京区	1.83	東久留米市	2.13
台東区	1.67	武蔵村山市	2.27
墨田区	1.79	多摩市	2.05
江東区	1.93	稲城市	2.25
品川区	1.78	羽村市	2.14
目黒区	1.78	あきる野市	2.25
大田区	1.85	西東京市	2.07
世田谷区	1.88		
渋谷区	1.64	町 村 部	2.01
中野区	1.61	郡 部	2.17
杉並区	1.76	瑞穂町	2.20
豊島区	1.61	日の出町	2.24
北区	1.78	檜原村	1.84
荒川区	1.85	奥多摩町	1.91
板橋区	1.82		
練馬区	1.96	島 部	1.72
		大島支庁	1.77
足立区	1.96	大島町	1.65
葛飾区	1.96	利島村	1.83
江戸川区	2.02	新島村	1.95
市 部	2.07	神津島村	2.07
八王子市	2.08		
立川市	1.99	三宅支庁	1.57
武蔵野市	1.90	三宅村	1.54
三鷹市	1.99	御蔵島村	1.83
青梅市	2.10		
府中市	2.06	八丈支庁	1.70
昭島市	2.09	八丈町	1.71
調布市	1.97	青ヶ島村	1.49
町田市	2.17		
小金井市	2.00	小笠原支庁	1.76
		小笠原村	1.76
小平市	2.10		
日野市	2.08		
東村山市	2.06		
国分寺市	2.05		
国立市	1.99		

6 人口密度

東京都全体の人口密度は6,306人/㎢である。

地域別にみると、区部は15,250人/㎢、市部は5,335人/㎢、町村部は105人/㎢となっている。前年に比べ区部は134人/㎢、市部は14人/㎢上昇しており、町村部は1人/㎢低下している。

さらに区市町村別にみると、豊島区の22,309人/㎢が最も高く、次いで中野区の21,503人/㎢、荒川区の21,373人/㎢となっている。

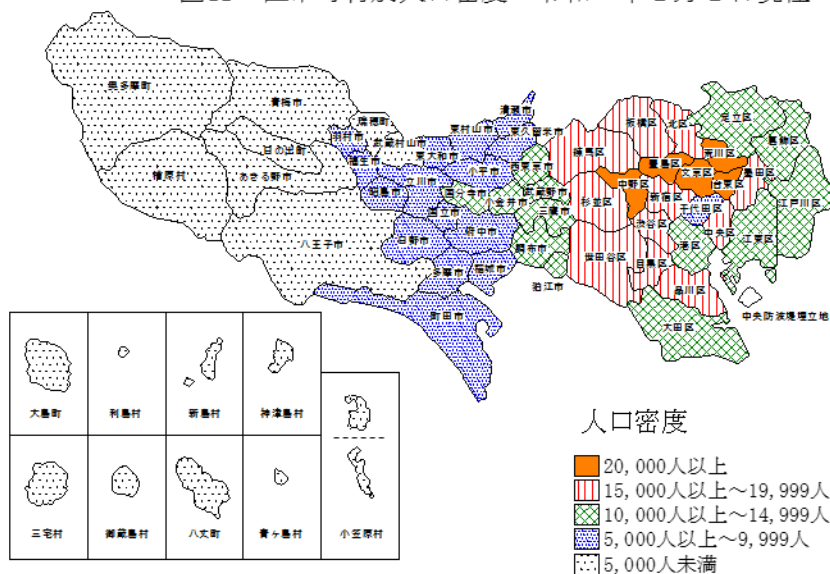
一方、最も低いのは、御蔵島村の15人/㎢、次いで檜原村の20人/㎢、奥多摩町の22人/㎢となっている。(表9、図11、統計表1)

注)人口密度を算出するための区市町村の面積は、総務局行政部長通知「東京都区市町村別の面積について」による令和元年10月1日時点の数値である。

表9 地域別人口密度 各年1月1日現在

(単位：人/㎢)			
地 域	令和2年	平成31年	増減数
総 数	6,306	6,263	43
区 部	15,250	15,116	134
市 部	5,335	5,321	14
町村部	105	106	△ 1
郡部	151	153	△ 2
島部	62	63	△ 1

図11 区市町村別人口密度 令和2年1月1日現在



II 日本人人口

1 人口及び対前年増減率

日本人人口は13,257,596人で、前年に比べ68,547人(0.52%)増加し、平成9年以降24年連続の人口増加となっている。

男女別にみると、男性6,522,813人、女性6,734,783人となっている。前年に比べ男性は27,598人(0.42%)、女性は40,949人(0.61%)増加している。

地域別にみると、区部は9,084,642人、市部は4,092,190人、町村部は80,764人となっている。前年に比べ区部は63,215人(0.70%)、市部は6,423人(0.16%)増加しているが、町村部は1,091人(Δ 1.33%)減少している。(表10、11、図12、統計表2、6、7)

図12 日本人人口及び対前年増減率の推移 (昭和32～令和2年) 各年1月1日現在

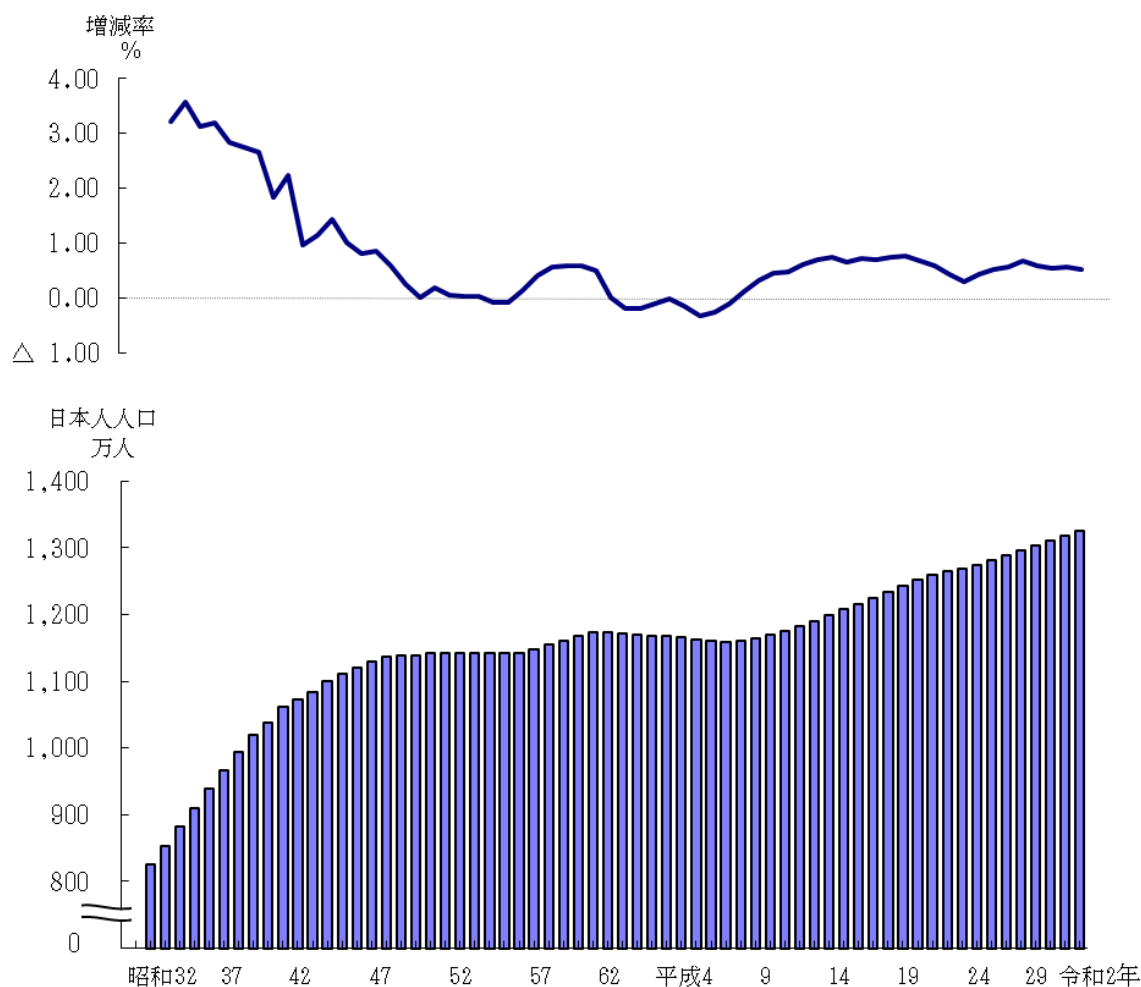


表 10 男女別日本人人口の推移 (平成 22～令和 2 年) 各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	総数			男			女		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成22年	12,591,643	74,344	0.59	6,249,973	33,906	0.55	6,341,670	40,438	0.64
23	12,646,745	55,102	0.44	6,269,830	19,857	0.32	6,376,915	35,245	0.56
24	12,686,067	39,322	0.31	6,283,796	13,966	0.22	6,402,271	25,356	0.40
25	12,740,088	54,021	0.43	6,306,859	23,063	0.37	6,433,229	30,958	0.48
26	12,807,631	67,543	0.53	6,335,735	28,876	0.46	6,471,896	38,667	0.60
27	12,880,144	72,513	0.57	6,366,590	30,855	0.49	6,513,554	41,658	0.64
28	12,966,307	86,163	0.67	6,404,647	38,057	0.60	6,561,660	48,106	0.74
29	13,043,707	77,400	0.60	6,438,100	33,453	0.52	6,605,607	43,947	0.67
30	13,115,848	72,141	0.55	6,466,115	28,015	0.44	6,649,733	44,126	0.67
31	13,189,049	73,201	0.56	6,495,215	29,100	0.45	6,693,834	44,101	0.66
令和2年	13,257,596	68,547	0.52	6,522,813	27,598	0.42	6,734,783	40,949	0.61

表 11 地域別日本人人口の推移 (平成 22～令和 2 年) 各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	区部			市部			町村部		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成22年	8,502,527	51,460	0.61	4,001,781	23,092	0.58	87,335	△ 208	△ 0.24
23	8,541,979	39,452	0.46	4,017,752	15,971	0.40	87,014	△ 321	△ 0.37
24	8,575,228	33,249	0.39	4,024,146	6,394	0.16	86,693	△ 321	△ 0.37
25	8,624,309	49,081	0.57	4,029,607	5,461	0.14	86,172	△ 521	△ 0.60
26	8,685,756	61,447	0.71	4,036,448	6,841	0.17	85,427	△ 745	△ 0.86
27	8,751,735	65,979	0.76	4,043,532	7,084	0.18	84,877	△ 550	△ 0.64
28	8,827,070	75,335	0.86	4,054,848	11,316	0.28	84,389	△ 488	△ 0.57
29	8,892,312	65,242	0.74	4,067,867	13,019	0.32	83,528	△ 861	△ 1.02
30	8,956,636	64,324	0.72	4,076,373	8,506	0.21	82,839	△ 689	△ 0.82
31	9,021,427	64,791	0.72	4,085,767	9,394	0.23	81,855	△ 984	△ 1.19
令和2年	9,084,642	63,215	0.70	4,092,190	6,423	0.16	80,764	△ 1,091	△ 1.33

2 平均年齢

日本人人口の平均年齢は 45.46 歳で、前年に比べ 0.16 歳高くなっている。

男女別にみると、男性は 44.15 歳、女性は 46.72 歳で、女性の方が 2.57 歳高くなっている。

地域別にみると、町村部の 50.36 歳が最も高く、次いで市部 46.20 歳、区部 45.08 歳となっている。

また、20 年前の平成 12 年と比べ、すべての地域で男女共に平均年齢が上昇しており、20 年間で男性は 4.35 歳、女性は 4.27 歳上昇している。(表 12)

表 12 地域、男女別日本人人口の平均年齢の推移（平成 12、22、27～令和2年）各年1月1日現在

(単位：歳)

地域・男女		平成 12年	22年	27年	28年	29年	30年	31年	令和 2年
総 数	総 数	41.13	43.65	44.70	44.85	45.01	45.16	45.30	45.46
	区 部	41.68	43.81	44.60	44.69	44.80	44.90	44.98	45.08
	市 部	39.91	43.24	44.82	45.10	45.37	45.65	45.91	46.20
	町村部	43.32	47.44	48.80	49.02	49.36	49.65	49.99	50.36
	郡部	42.09	46.39	48.05	48.36	48.75	49.14	49.54	50.02
	島部	45.68	49.63	50.42	50.46	50.72	50.80	50.99	51.10
男	総 数	39.80	42.30	43.35	43.51	43.67	43.84	43.99	44.15
	区 部	40.30	42.43	43.26	43.36	43.48	43.60	43.70	43.81
	市 部	38.70	41.94	43.48	43.75	44.01	44.28	44.54	44.83
	町村部	41.75	45.76	47.03	47.26	47.61	47.89	48.25	48.59
	郡部	40.58	44.78	46.36	46.68	47.04	47.38	47.83	48.30
	島部	44.02	47.78	48.46	48.51	48.82	48.99	49.18	49.19
女	総 数	42.45	44.98	46.01	46.16	46.30	46.45	46.58	46.72
	区 部	43.04	45.15	45.91	45.99	46.08	46.16	46.23	46.31
	市 部	41.13	44.53	46.14	46.43	46.70	46.98	47.25	47.54
	町村部	44.92	49.16	50.60	50.82	51.17	51.47	51.77	52.18
	郡部	43.64	48.03	49.76	50.06	50.48	50.92	51.27	51.76
	島部	47.38	51.54	52.48	52.51	52.72	52.72	52.92	53.16

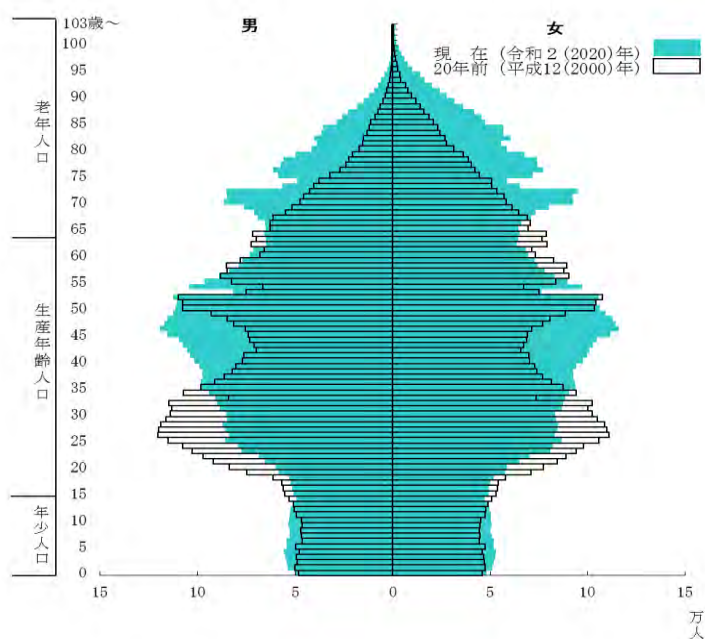
注) 平均年齢は、各年齢に人口を乗じた値を合計し、人口総数(年齢不詳者を除く)で除して求めている。
 平均年齢=年齢(各歳)×各歳別人口÷各歳別人口の合計+0.5

3 年齢(各歳)別人口

日本人人口の年齢(各歳)別人口を人口ピラミッドで見ると、20年前の平成12年と比べ、20代の人口は男女共に大きく減少しているが、40代は男女共に大きく増加している。

また、65歳以上の老年人口についても大幅に増加している。(図13、統計表2、6)

図 13 東京都の日本人における人口ピラミッド(平成 12、令和2年) 各年1月1日現在



4 年齢3区分別人口

日本人人口を年齢3区分別にみると、令和2年の年少人口(0～14歳)は1,553,841人で、前年に比べ1,067人(△0.07%)減少している。日本人人口に占める年少人口の割合は11.72%で、前年に比べ0.07ポイント低下している。

生産年齢人口(15～64歳)は8,607,359人で、前年に比べ53,013人(0.62%)増加している。日本人人口に占める生産年齢人口の割合は64.92%で、前年に比べ0.06ポイント増加している。また、10年前の平成22年の生産年齢人口割合67.85%と比べ、2.93ポイント低下している。

老年人口(65歳以上)は3,096,395人で、前年に比べ16,601人(0.54%)増加している。日本人人口に占める老年人口の割合は23.36%で、昭和32年の調査開始以来、過去最高を更新している。また、10年前の平成22年の老年人口割合20.31%と比べ、3.05ポイント上昇している。

老年人口のうち、70歳以上の人口は2,394,666人で、前年に比べ74,953人(3.23%)増加し、日本人人口に占める割合は18.06%となっている。75歳以上の人口は1,629,109人で、前年に比べ38,440人(2.42%)増加し、日本人人口に占める割合は12.29%となっている。さらに、80歳以上の人口は980,654人で、前年に比べ24,648人(2.58%)増加し、日本人人口に占める割合は7.40%となっている。

(表13-1、13-2、図14、15、統計表3-2)

表13-1 年齢3区分別日本人人口の推移 (平成22～令和2年) 各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15～64歳)			老年人口(65歳以上)		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成22年	1,489,947	7,715	0.52	8,543,980	△312	△0.00	2,557,714	66,945	2.69
23	1,501,531	11,584	0.78	8,555,896	11,916	0.14	2,589,316	31,602	1.24
24	1,504,180	2,649	0.18	8,548,560	△7,336	△0.09	2,633,325	44,009	1.70
25	1,509,428	5,248	0.35	8,496,903	△51,657	△0.60	2,733,757	100,432	3.81
26	1,516,430	7,002	0.46	8,464,583	△32,320	△0.38	2,826,618	92,861	3.40
27	1,525,911	9,481	0.63	8,436,570	△28,013	△0.33	2,917,663	91,045	3.22
28	1,535,808	9,897	0.65	8,451,603	15,033	0.18	2,978,895	61,232	2.10
29	1,544,180	8,372	0.55	8,475,913	24,310	0.29	3,023,613	44,718	1.50
30	1,549,223	5,043	0.33	8,508,232	32,319	0.38	3,058,392	34,779	1.15
31	1,554,908	5,685	0.37	8,554,346	46,114	0.54	3,079,794	21,402	0.70
令和2年	1,553,841	△1,067	△0.07	8,607,359	53,013	0.62	3,096,395	16,601	0.54
年次	(再掲) 老年人口のうち 70歳以上			(再掲) 老年人口のうち 75歳以上			(再掲) 老年人口のうち 80歳以上		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成22年	1,787,097	49,809	2.87	1,152,293	47,612	4.31	639,980	31,364	5.15
23	1,848,047	60,950	3.41	1,209,811	57,518	4.99	671,062	31,082	4.86
24	1,918,138	70,091	3.79	1,260,591	50,780	4.20	704,829	33,767	5.03
25	1,980,748	62,610	3.26	1,309,538	48,947	3.88	741,008	36,179	5.13
26	2,046,094	65,346	3.30	1,344,510	34,972	2.67	777,277	36,269	4.89
27	2,098,742	52,648	2.57	1,381,468	36,958	2.75	811,552	34,275	4.41
28	2,120,793	22,051	1.05	1,430,654	49,186	3.56	855,983	44,431	5.47
29	2,154,300	33,507	1.58	1,487,935	57,281	4.00	894,379	38,396	4.49
30	2,241,635	87,335	4.05	1,538,980	51,045	3.43	932,211	37,832	4.23
31	2,319,713	78,078	3.48	1,590,669	51,689	3.36	956,006	23,795	2.55
令和2年	2,394,666	74,953	3.23	1,629,109	38,440	2.42	980,654	24,648	2.58

表 13-2 年齢3区分別日本人人口及び構成比の推移（平成 22～令和 2 年）各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		(再掲) 老年人口の うち70歳以上		(再掲) 老年人口の うち75歳以上		(再掲) 老年人口の うち80歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
	平成22年	1,489,947	11.83	8,543,980	67.85	2,557,714	20.31	1,787,097	14.19	1,152,293	9.15	639,980
23	1,501,531	11.87	8,555,896	67.65	2,589,316	20.47	1,848,047	14.61	1,209,811	9.57	671,062	5.31
24	1,504,180	11.86	8,548,560	67.39	2,633,325	20.76	1,918,138	15.12	1,260,591	9.94	704,829	5.56
25	1,509,428	11.85	8,496,903	66.69	2,733,757	21.46	1,980,748	15.55	1,309,538	10.28	741,008	5.82
26	1,516,430	11.84	8,464,583	66.09	2,826,618	22.07	2,046,094	15.98	1,344,510	10.50	777,277	6.07
27	1,525,911	11.85	8,436,570	65.50	2,917,663	22.65	2,098,742	16.29	1,381,468	10.73	811,552	6.30
28	1,535,808	11.84	8,451,603	65.18	2,978,895	22.97	2,120,793	16.36	1,430,654	11.03	855,983	6.60
29	1,544,180	11.84	8,475,913	64.98	3,023,613	23.18	2,154,300	16.52	1,487,935	11.41	894,379	6.86
30	1,549,223	11.81	8,508,232	64.87	3,058,392	23.32	2,241,635	17.09	1,538,980	11.73	932,211	7.11
31	1,554,908	11.79	8,554,346	64.86	3,079,794	23.35	2,319,713	17.59	1,590,669	12.06	956,006	7.25
令和2年	1,553,841	11.72	8,607,359	64.92	3,096,395	23.36	2,394,666	18.06	1,629,109	12.29	980,654	7.40

注) 構成比 (%) = 各年齢3区分別日本人人口 ÷ 日本人人口の総数 (年齢不詳者を含む) × 100

図 14 年齢3区分別日本人人口の推移（昭和 32～令和 2 年）各年 1 月 1 日現在

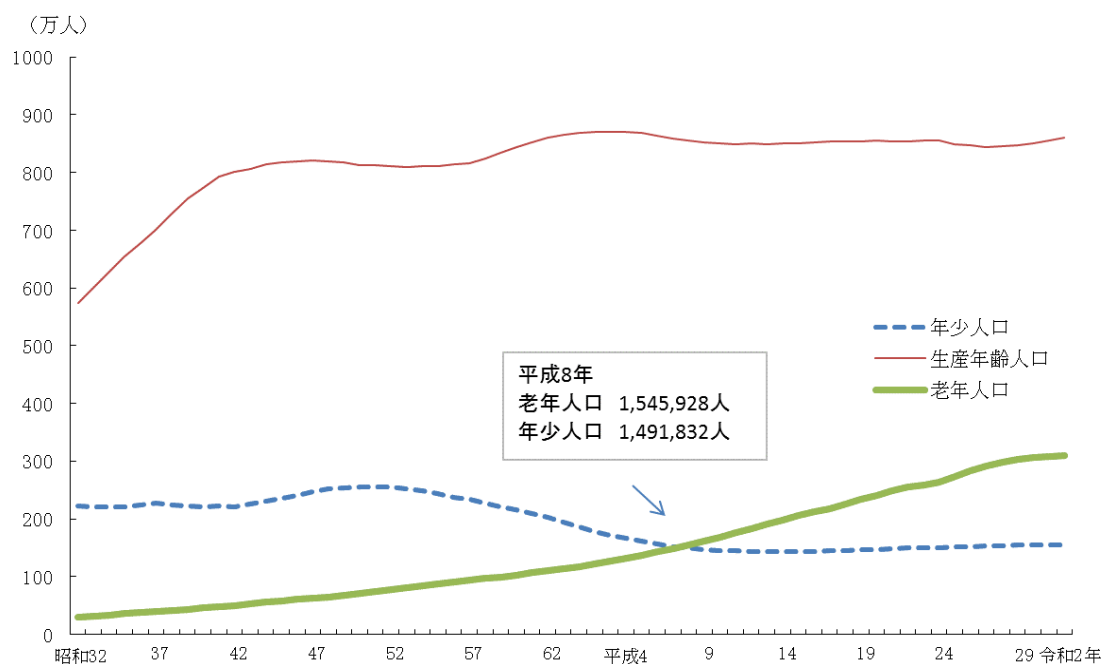
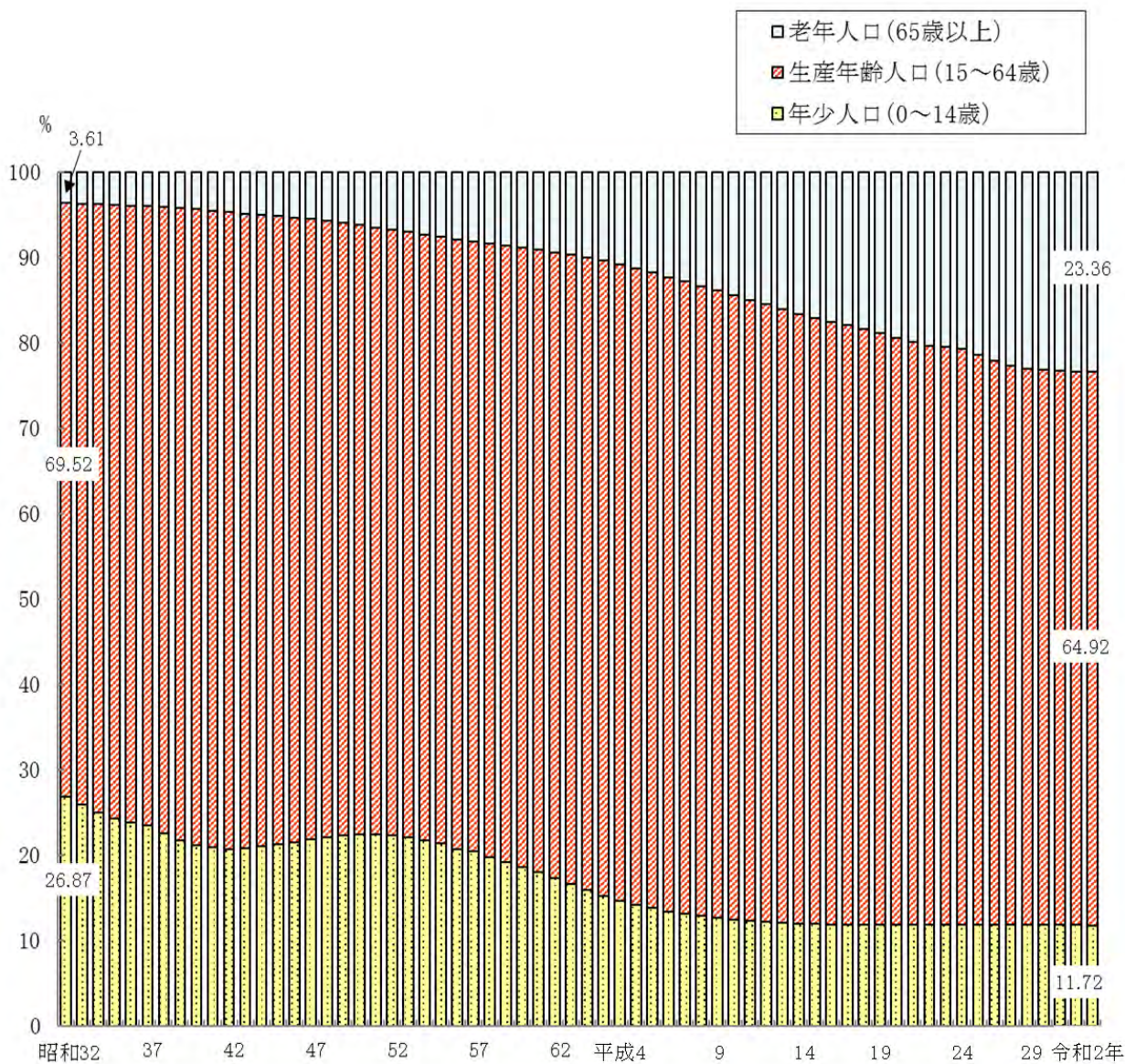


図 15 日本人人口の年齢3区分別構成比の推移（昭和32～令和2年）各年1月1日現在



5 年齢構造指数

日本人人口の年齢構造指数¹⁾をみると、年少人口指数は18.1(働き手5.5人で年少者1人を支える²⁾)で、前年から0.1ポイント減少し、老年(従属)人口指数は36.0(働き手2.8人で高齢者1人を支える³⁾)で、前年から変わっていない。年少(従属)人口指数と老年(従属)人口指数との差は17.9ポイントと前年の差17.8ポイントからさらに拡大している。

従属人口指数は54.0で前年から0.2ポイント減少となった。生産年齢人口を働き手、年少人口及び老年人口を被扶養層とみると、被扶養層1人に対し働き手⁴⁾1.9人で支えていることになる。20年前の平成12年をみると、従属人口指数は38.3で、被扶養層1人に対し働き手は2.6人となっている。被扶養層1人に対する働き手は、この20年間で約3人から約2人へ減少したことになる。

また、老年化指数は199.3となり、20年前の平成12年と比べ約1.6倍に上昇し、さらに高齢化が進展している。(表14、図16-1、16-2)

表14 日本人人口の年齢構造指数の推移(平成12、17、22、27～令和2年) 各年1月1日現在

年齢構造指数 1)	平成12	17	22	27	28	29	30	31	令和2
年少(従属)人口指数	16.8	16.9	17.4	18.1	18.2	18.2	18.2	18.2	18.1
老年(従属)人口指数	21.5	25.5	29.9	34.6	35.2	35.7	35.9	36.0	36.0
従属人口指数	38.3	42.4	47.4	52.7	53.4	53.9	54.2	54.2	54.0
老年化指数	127.5	150.5	171.7	191.2	194.0	195.8	197.4	198.1	199.3

S

注1) 「年齢構造指数」は次の指数の総称であり、以下により算出している。

$$\text{年少(従属)人口指数} = \text{年少人口} \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

$$\text{老年(従属)人口指数} = \text{老年人口} \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \text{老年人口} \div \text{年少人口} \times 100$$

$$2) \text{ 年少者1人を支える働き手の人数} = 100 \div \text{年少(従属)人口指数}$$

$$3) \text{ 老年者1人を支える働き手の人数} = 100 \div \text{老年(従属)人口指数}$$

$$4) \text{ 被扶養層1人に対する働き手の人数} = \text{生産年齢人口} \div (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \\ = 100 \div \text{従属人口指数}$$

図 16-1 日本人人口の年齢構造指数の推移 (昭和 32~令和 2 年)

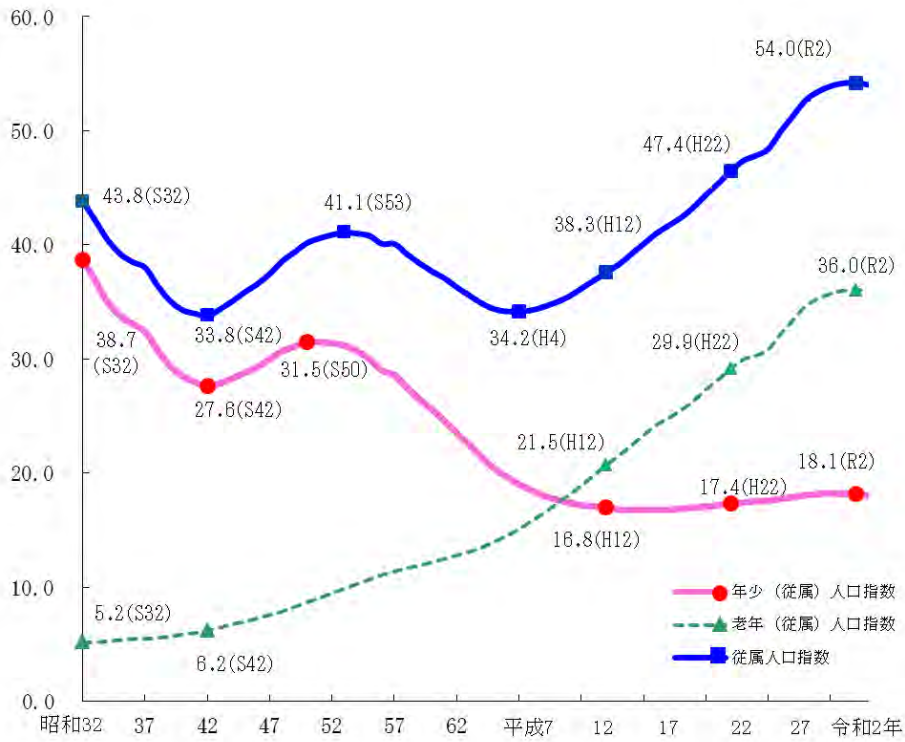
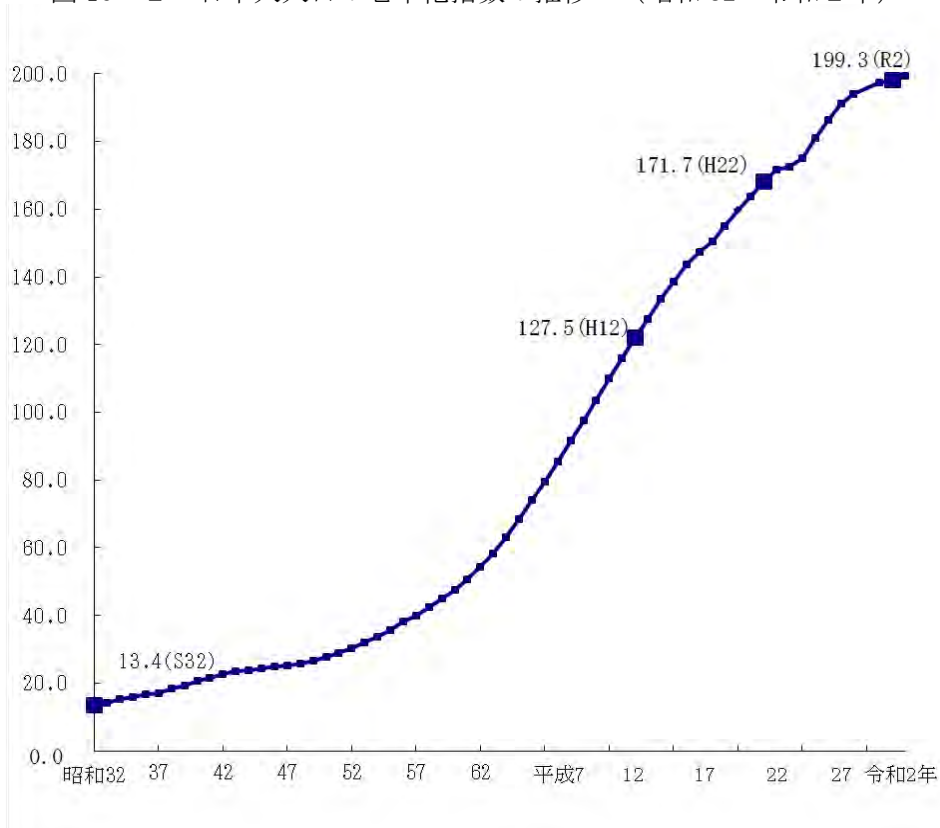


図 16-2 日本人人口の老年化指数の推移 (昭和 32~令和 2 年)



<参考> 東京都と全国の人口比較 (平成31年1月1日現在)

総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」の直近の公表数値は、平成31年1月1日現在であるため、平成31年1月1日現在の数値で比較している。

平成31年1月1日現在における東京都と全国の人口総数を比較すると、東京都は13,740,732人、全国は127,443,563人で、東京都の人口総数が全国の人口総数に占める割合は10.78%となっている。

人口総数の年齢3区分別構成比をみると、東京都の年少人口は11.65%で全国より0.72ポイント低く、生産年齢人口は65.76%で全国より5.73ポイント高く、老年人口は22.59%で全国より5.02ポイント低くなっている。

日本人は、東京都が13,189,049人、全国が124,776,364人で、全国の日本人に占める東京都の割合は10.57%となっている。

日本人の年齢3区分別構成比をみると、東京都の年少人口は11.79%で全国より0.66ポイント低く、生産年齢人口は64.86%で全国より5.37ポイント高く、老年人口は23.35%で全国より4.71ポイント低くなっている。

また、外国人は、東京都が551,683人、全国が2,667,199人で、全国の外国人に占める東京都の割合は20.68%となっている。

外国人の年齢3区分別構成比をみると、東京都の年少人口は8.42%で全国より0.09ポイント低く、生産年齢人口は87.25%で全国より2.18ポイント高く、老年人口は4.34%で全国より2.08ポイント低くなっている。

表 年齢3区分別人口 平成31年1月1日現在

区 分	東京都		全国		全国に占める東京都の割合
	人口	構成比	人口	構成比	
人口総数	13,740,732	100.00	127,443,563	100.00	10.78
年少人口(0～14歳)	1,601,348	11.65	15,758,424	12.37	10.16
生産年齢人口(15～64歳)	9,035,668	65.76	76,499,828	60.03	11.81
老年人口(65歳以上)	3,103,714	22.59	35,185,241	27.61	8.82
日本人人口	13,189,049	100.00	124,776,364	100.00	10.57
年少人口(0～14歳)	1,554,908	11.79	15,531,403	12.45	10.01
生産年齢人口(15～64歳)	8,554,346	64.86	74,230,887	59.49	11.52
老年人口(65歳以上)	3,079,794	23.35	35,014,064	28.06	8.80
外国人人口	551,683	100.00	2,667,199	100.00	20.68
年少人口(0～14歳)	46,440	8.42	227,021	8.51	20.46
生産年齢人口(15～64歳)	481,322	87.25	2,268,941	85.07	21.21
老年人口(65歳以上)	23,920	4.34	171,177	6.42	13.97

注1) 全国の人口は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(平成31年1月1日現在)より引用

2) 人口総数、日本人及び外国人の各総数には年齢不詳者を含む。